東京栴檀会　執行部役員会　議事事録（H２３年5月３１日作成）

開催日時：平成 23 年 5 月 30 日（月）１３：００～１５：３０

場所：品川区大崎２-９-４　大崎第二地域センター

出席者：佐藤三千雄（高９回)、佐藤和征（高１０)、鈴木秀夫（高１２回)、冨澤誠（高１３)、
市川宏（高１４)、谷津田保雄・辻ノリ子（高１９回)、神田幸子（高２０)、鈴木孝光（高２１）
加藤淳子（高２６）　書記：谷津田（高１９回）　計１０名

欠席者：佐藤宏秀、木幡實、大元泰宏、大井和彦、中澤嘉樹、蘭香代子、根本道夫、藁谷至（８名）

会議に先立ち、東日本大震災で被災され亡くなられた双高同窓生、その親戚・知人へ哀悼の意を込めて黙祷を捧げた

会長挨拶：鈴木秀夫会長

（１）　今回の震災を受け、早くから役員会の開催を求められたが　①時期尚早　②校長先生所在不明　③小山会長所在不明、以上の理由により本日開催となった。

（２）　先生一人が、塩釜で震災のため逝去された。

（３）　ある役員より、早めに募金贈呈式をしてはどうかとの意見もあったが、一過性でなく３～５年先を考えて実施する。

（４）　双高同窓会は、小山同窓会長より同窓会機能を東京栴檀会に委嘱する旨の連絡あり。

議題：１、募金の現状報告について（中澤会計幹事よりの資料）

◎１団体２６名よりご協力あり。　合計　７１９，０００円

内訳：東海大学校友会様　１２０，０００円

高１９回遠藤九吉様、鈴木東京栴檀会会長　１００，０００円

高１２回豊嶋信之様、高１３回冨澤誠様、高３１回志賀泉様　５０，０００円　が主立った方々及び団体です。

２、今後の活動について

①ホームページでは現在「基金」としているが、「双高募金」と名称変更し継続する。

②東京栴檀会会員に封書で、趣意書（会長名）・振込用紙を同封し早めに発送する。

☆サラトを使わずに、大井幹事長・中澤会計幹事を中心に、手分けして早急に印刷宛名書きし郵送。必要に応じて役員会を開催し対応する。

③既に募金活動の協力をされた方に感謝し、更なる協力の輪を広げる。

［意見］

１、基金について

①　募金は子ども達のために使う。

②　お金ではなく物で援助する。

③　役員会も開催せず、基金として勝手にホームページに掲載したが、役員会の決定が必要ではないのか。

２、母校双葉高校の支援について

①　安否確認　→　学校への支援　→　生徒へのバックアップ（住居・クラブ・生活費・その他）

［注］現在、双葉高校の事務局は「あさか開成高校」にある（太田事務局長）

３、被災者の方々のメール相談の窓口について

①　現在のホームページ「掲示板」を活用する。

４、その他

①　新聞発行について加藤さんよりアンケート方式で原発についての意見を聞く。記事各ページについての提案があった。例年にならい新聞発行委員会で起案し懸案解決する。

②　野球部の練習は各サテライト協力校と平商に分かれて練習しているが資金面の援助が急務。野球部後援会での資金援助の仕方など相談し「東京栴檀会」としての 5 万円援助を決定する。

③　本部「双高新聞」発行では、昨年行った新聞発行継続のため行った資金援助金約 300 万円が全国の同窓生から集まっている。昨年発送で約 150 万、今年度の本部発行は行われていない。

④　サラトの名簿を勝手に使い募金活動をしている団体がある。個人情報保護法に抵触しないのか。

⑤　サラトに著作権はあるが、今後は東京栴檀会が主導して名簿管理をし、東京から全国へ展開する。

⑥　ホームページ委員会に各学年から集まる FAX 記事等ホームページ用にメールを打てる委員を募集していたが高１４回谷本多美子さん､高３１回の志賀泉さんおよび高31回の八神由佳里さんが応諾された。

⑦　高１４回谷本多美子さんが副会長、高３１回志賀泉さん、高３１回八神由佳里さんが副幹事長にそれぞれ就任が了承された。

以上